

ようこそ 鞆の浦学園のホームページへ

広島県東部に位置する福山市鞆町は、いにしえより潮待ちの港として栄えました。潮待ちとは、瀬戸内海の潮の分かれ目となる鞆の港で、潮の流れが変わるのを待つことを言いますが、多くの船が集まり、鞆の港は活気に満ちていたそうです。

歴史と文化に培われた鞆の町に、2019年（平成31年）4月、福山市初の義務教育学校「鞆の浦学園」が開校しました。校舎は高台にあり、瀬戸内海国立公園の美しい景色（仙酔島をはじめ瀬戸内の島々）や四国を眺めることができます。

鞆の浦学園は、新教科「鞆学」を中心に地域の学習素材を活用し教育内容を創ってきました。多くのプロボノメンバー（地域の専門家）と地域の方に支えられた「地域とともにある学園」です。

2022年度（令和4年度）、学校運営・教育内容の更なる質の向上をめざして、コミュニティ・スクール（CS）を導入しました。常に、保護者や地域の温かいご支援を感じながら、小中一貫教育の良さ、義務教育学校の良さを最大限に生み出して、「探究」の世界にどっぷりつかった子どもと教職員の輝く姿を追い求めます。

引き続き、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

○ 基本理念

「いのち、輝く！ No Child Left Behind!」

～ 一人一人が自分らしく、

すべての場面でいのちを輝かせる児童・生徒&教職員 ～

すべての子どもが自分らしく、力いっぱい花を咲かせること

そして、それを支える教職員も、一丸となり、全精力を注ぐ
自分らしく生きる時、人は自然に輝く

そこには、打算も、優劣も、勝ち負けもない

互いに認め合い、学び合い、感謝し合う心が人を育てる

こうした土台があってこそ、一人も残さず、すべての命が輝く
人は、生まれてきただけで価値がある

与えられた命を、すべての場面を通して、精魂込めて、耕し続ける
それが、教育の使命だと考える

福山市立鞆の浦学園
校長 友瀧 佳司之

